

認定看護管理者教育課程

サードレベル募集要項

1 目的

- (1) 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために看護の理念を掲げ、それを具現化するために必要な組織を構築し、運営していくことのできる能力を高める
- (2) 看護事業を起業し運営するにあたって必要となる経営管理能力に関する知識・技術・態度を習得する

2 研修期間

前期 7月3日(月)～8月4日(金) 後期 8月21日(月)～8月31日(木) (31日間)

3 定員/会場

- (1) 定員 20名
- (2) 会場 岩手県看護協会 看護研修センター

4 被災者への支援

岩手県看護協会会員で、東日本大震災で被災された看護管理者 若干名を対象として受講経費(受講料・レポート審査料)を免除する

5 受講要件と提出書類

【受講要件】

- (1) 日本国の看護師免許を有する者
- (2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
- (3) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者
または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

【提出書類】*はホームページからダウンロードできる

- (1) 認定看護管理者教育課程サードレベル受講申込書 *
- (2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルの修了者は修了証書の写し
- (3) 勤務証明書 *
- (4) 小論文 *

テーマ:「地域における自施設の役割を明確にし、ヘルスケア提供システムの課題と組織的に改善すべき点について、看護部のトップマネジャーの視点で述べて」

形式:①A4版用紙を縦置きし、横書き記入

②1行40字×35行(フォントサイズ10.5ポイント MS明朝体)

1行目 小論文(中央)

2行目(空欄)

3行目「課題テーマ記入○○○○○○○○○○○○○○○○」

4行目(空欄)

5行目 (右寄せで)氏名記入

6行目(空欄)

7行目 本文を書き始める。

1200～1400文字以内

*図、表は使用しない。参考文献等の記載は不要

<小論文評価基準>

課題の理解	1. テーマと内容が一致している。 2. テーマの理解ができている。
思考力	1. 自施設の課題が客観的に述べられている。 2. 自施設の展望が客観的に述べられている。 3. マネジメントを意識した自らの働きかけの記述がある。 4. 意志や意欲が表現されている。
論述能力	1. 論理的な文章構成である。 2. 所定の形式に沿って記述されている。 3. 誤字・脱字などがなく表記に誤りがない。

6 申込期間

4月7日（金）～4月14日（金）必着

7 申込方法

提出書類（1）～（4）に必要事項をもれなく記入し申込期間内に申し込む

8 受講者の選考方法

認定看護管理者教育運営委員会で受講者を決定する

<選考基準>

- （1）受講要件を満たしている
- （2）受講動機における自己の課題が明確であり、論点・論旨が明確である
- （3）小論文は評価基準に基づき選考する

9 受講決定

提出書類に基づき受講要件を審査の上、応募者及び所属長宛に通知する

10 受講経費

会 員 受講料：260,000円（科目レポート審査料含む）

非会員 受講料：490,000円（科目レポート審査料含む）

※他にテキスト代・資料代：必要時実費徴収

11 修了要件

- （1）各教科目の所定の時間の4／5以上の出席がある
- （2）各科目レポートの評価がC以上である
（A：80点以上、 B：79～70点、 C：69～60点、 D：59点以下）
- （3）認定看護管理者教育運営委員会において（1）（2）に基づき修了審査する
- （4）修了者には、修了証書を岩手県看護協会会長名で交付する

12 教育課程（カリキュラム）と講師

教科目	時間	ねらい	単元	単元の内容	時間数	講師
保健医療福祉政策論	30	1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理上に与える影響を考え行動できる。 2. 看護現場の現状を分析・データ化し、職能団体、行政機関等へ提示できる。	1) 社会保障の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の概念と関連法規 ・社会保障の資源 ・日本における保健医療福祉制度の動向 ・ヘルスケア産業の動向 	3	国際医療福祉大学 医療福祉学部 学部長・教授 高橋 泰 ※公開講座
			2) 諸外国の保健医療福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・WHOの活動とヘルスケア政策 ・国際機関の連携 ・諸外国及びわが国のヘルスケアシステムの現状 ・わが国のヘルスケア提供者の市場と現状 ・世界の医療・看護の動向 ・ヘルスケアサービスの国際的動向 	3	東北医科薬科大学 医学部 教授・病院長補佐 濃沼 信夫
			3) 保健医療福祉政策	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の医療政策 ・地域保健医療福祉計画 	6	山形大学大学院医療系研究科 医療政策学講座 教授 村上 正泰
			4) 看護制度・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・看護制度の変遷と政策（マンパワー、教育、処遇など） ・看護政策に関する審議会・検討会 ・看護関係法規と今日的課題 ・看護管理への影響と対応／制度の変化について ・看護戦略とパワーの活用 	6	公益社団法人日本看護協会 常任理事 齋藤 訓子
			5) 制度・政策に影響を及ぼす看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の国際化と看護管理者のリーダーシップ ・国際貢献 ・職能団体による政策への影響力 ・制度改革のための管理者の役割 	6	講師交渉中
			6) 保健医療福祉政策演習	保健医療福祉組織や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データ分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。また、保健医療福祉に関する政策提言を行う。	6	山形大学大学院医療系研究科 医療政策学講座 教授 村上 正泰
保健医療福祉組織論	33	社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし、目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を理解できる。	1) 保健医療福祉サービスのマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング ・ヘルスケアサービスの組織を創造するビジネスの動き ・地域のヘルスケアサービスに関わる社会資源 ・人的資源の分析 	6	テルモ株式会社 取締役副社長執行役員 松村 啓史
			2) 組織デザイン論	<ul style="list-style-type: none"> ・組織デザインと人的資源の配置 ・組織間ネットワークのデザイン 	6	聖路加国際大学 法人事務局長 渡辺 明良
				<ul style="list-style-type: none"> ・療養環境のデザイン 	3	工学院大学建築学部 建築デザイン学科 教授 笥 淳夫

			3)ヘルスケアサービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築 	6	慶應義塾大学看護医療学部 大学院健康マネジメント研究科 准教授 小池 智子
				<ul style="list-style-type: none"> ・連携を基盤としたサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・新しいヘルスケアサービス(国際的視座、等) 	3	公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事 佐藤 美穂子
			4)保健医療福祉組織論演習	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングを行い、新しいチームまたは部門の組織デザインを構築する 	6	慶應義塾大学看護医療学部 大学院健康マネジメント研究科 准教授 小池 智子
経営管理論	60	経営者あるいはその一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。	1)医療福祉と経済論	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学が追求するもの ・医療福祉の経済的問題 ・医療施設の経済的問題 ・看護の生産性 	6	社会サービス研究会 大内 講一
			2)医療福祉経営・医療経営とは	<ul style="list-style-type: none"> ・医療経営の構造 ・根拠にもとづいた医療経営(EBM) ・医療保険制度と医療施設の経営(DPC等) ・介護保険制度と介護福祉施設の経営 	9	済生会横浜市東部病院 院長補佐兼事務部長 正木 義博
			3)財務管理・原価の基礎的概念	<ul style="list-style-type: none"> ・経営データ ・財務分析 ・病院会計準則 ・財務リスク 	6	公益社団法人医療・病院管理 研究協会 調査企画部長 川島 英樹
			4)経営分析・貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書 ・財務分析 ・在庫管理 ・設備、機器等の投資計画と減価償却 	6	
			5)ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・経営資源の効率的・効果的運用 ・医療福祉サービスへの市場原理の導入 ・医療経営と総合的質管理 ・適正人員配置と経済性 ・看護必要度 ・ベンチマーク ・顧客満足 	6	青森県立保健大学 健康科学部看護学科 准教授 鄭 佳紅
			6)看護経営の今後のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションの経営 ・看護師の多方面での起業 	6	一般社団法人オフィス萩原 代表理事 萩原 正子
			7)労務管理・賃金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築 ・最新の労働関係法規の動向 ・建設的な労使関係の構築 	6	一般財団法人三友堂病院法人 本部 理事 財務部長 人事企画部長 田林 義則
			8)人材フローのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・募集と採用 ・異動と昇進 ・定着、離職防止 ・退職管理等 	6	一般財団法人大原総合病院 特任副院長 看護人材開発部長 佐藤 エキ子

			9) 危機管理・組織の危機管理 (災害、訴訟、経営上の危機等)	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故防止のための組織的対策 組織における安全文化の醸成 暴力・ハラスメントへの取り組み メディエーション、医療ADR(裁判外紛争処理) コーポレートガバナンスの考え方 	6	岩手医科大学 看護・政策研究部門 教授 嶋森好子
			10) 経営管理論 演習	<ul style="list-style-type: none"> 自施設のベンチマークを行い、人事配置、財務計画を策定する 	3	青森県立保健大学 健康科学部看護学科 准教授 鄭佳紅
看護経営者論	45	トップマネジャーが備えるべき要件について理解し、行動できる。	1) 経営者論	<ul style="list-style-type: none"> 経営者に必要な能力(情報収集/分析力、企画力、意思決定、交渉力、戦略的コミュニケーション、企画書の作成とプレゼンテーション) 経営者に求められる役割 パワーの活用と戦略 経営者としての成長と熟練 	6	獨協医科大学 統括看護部長 学長補佐 SDセンター 副センター長 看護教育部門長 佐山静江 ※公開講座
			2) 管理者の倫理的意思決定	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の倫理的ジレンマ 倫理的実践を推進するための看護管理 看護管理における倫理的意思決定プロセス トップマネジャーの意思決定と倫理 倫理的感受性 	6	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 (看護管理学) 准教授 渡邊眞理
			3) 看護事業の開発と起業	<ul style="list-style-type: none"> 看護事業の開発 ビジネスプラン 起業家論 起業の実際 	3	有限会社 多摩たんぼぼ介護サービスセンター 取締役 千葉信子
					3	一般社団法人恵幸会 くくる花巻訪問看護ステーション 所長・訪問看護認定看護師 平澤利恵子
			4) 実習	<ul style="list-style-type: none"> すぐれた看護管理者のもとでシャドウイング(実習)を実施し、経営者およびトップマネジャーとしての役割、マネジメントの実際や備えるべき資質、要件を学ぶ。(実習計画の作成、交渉の実践を含む) 	18	専任教員 認定看護管理者 菊池田鶴子
5) 看護経営者論 演習	<ul style="list-style-type: none"> トップマネジャーとしての視野を広め、自己の経営課題を効果的にプレゼンテーションできる 	3	盛岡市立病院 看護部長 認定看護管理者 柳田美喜子			
		6	専任教員 認定看護管理者 菊池田鶴子			
統合演習	15	教科目で学習した内容を統合、活用し、看護管理の実践の向上をめざす。	統合演習	<ul style="list-style-type: none"> 自組織について、組織分析し、経営者として組織の改善計画を立案する 看護部門のトップとして組織分析し、看護部門の改善計画を立案する 	15	演習支援者 三愛病院 看護部長 認定看護管理者 遠藤ミネ子 盛岡赤十字病院 看護部長 認定看護管理者 及川千香子 岩手県医療局業務支援課 看護指導監 認定看護管理者 高橋明美 盛岡市立病院 看護部長 認定看護管理者 柳田美喜子